

【市民】調査票（案）に関する意見等一覧

資料 2 - 3

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
1	導入部分	「性別にかかわらず個性と能力を発揮し、いきいきと暮らすことができる社会の実現を目指し」を下線や太字で目立たせてはどうか。本調査の大きな目的だから。読み手に確実に伝わってほしい。	※修正なし	※事務局：豊川市における計画や意識調査等において、導入部分の一部を強調することは基本無いため、修正しないこととする。
1	導入部分	外国人市民が選ばれることがあるか？ 本人が読める言語で表示するサービスがあることを記すなどしてほしい。	※修正なし	※事務局：調査対象は日本国籍の方に限る。
3	問 4	選択肢の順番を入れ替えてはどうか。 上のほうにある選択肢が、豊川市の考え方に近いと捉えられかねない。	1. 同感する 2. ある程度同感する 3. どちらともいえない 4. あまり同感しない 5. 同感しない 6. わからない	1. 同感しない 2. あまり同感しない 3. どちらともいえない 4. ある程度同感する 5. 同感する 6. わからない
4	問 5	選択肢の内容が現代にそぐわない。人権を侵害するものとも見える。回答者（市民）に対し、このような思考を植え付けるかのような表現である。また、調査票の序盤にあることから、その意識を刷り込ませたうえでの回答にさせてしまうおそれがある。人権を尊重した内容に変えるべき。	1. 男性は外の仕事に、女性は家事・育児・介護に適しているから 4. 女性は家庭の状況によっては仕事を継続するのが難しいから	1. 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべき」という考え方が一般的だと思うから 4. 男性が働いたほうが、多くの収入を得られると思うから
5	問 7	問 5 に同じ。 人権を尊重した内容に変えるべき。	7. 男女平等が図られるよう男性の関心を高める 9. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改める	7. 研修会などにより、男女平等が図られるよう関心を高める 9. 家事などに参加することについて職場における上司や周囲の理解をすすめる
		選択肢 8 については、男性に限る必要があるか。	2. 企業中心という社会全体の仕組みを改める 8. 男性による家事、子育て、介護、地域活動などへの参加について社会的評価を高める	2. 仕事優先という社会全体の仕組みを改める 8. 家事、子育て、介護、地域活動などへの参加について社会的評価を高める

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
6	問 8	問 4 に同じ。 選択肢の順番を入れ替えてはどうか。	1. 男は男らしく、女は女らしくと育てられた 2. 男女の区別なく、個性（自分らしさ）を尊重されて育てられた	1. 男女の区別なく、個性（自分らしさ）を尊重されて育てられた 2. 男は男らしく、女は女らしくと育てられた
6	問 9	問 4 に同じ。 選択肢の順番を入れ替えてはどうか。	1. 男は男らしく、女は女らしくと育てた（る） 2. 男女の区別なく、個性（その子らしさ）を尊重するよう育てた（る）	1. 男女の区別なく、個性（その子らしさ）を尊重するよう育てた（る） 2. 男は男らしく、女は女らしくと育てた（る）
-	(問 10)	問 9 で「男女の区別なく、個性（その子らしさ）を尊重するよう育てた（る）」を選んだ人にとっては、答えづらい。 問 5 に同じ。 人権を尊重した内容に変えるべき。 男女は区別して育てることを推進している問いに感じる。	10-1 あなたは、これから女の子は、どのようなことを身につけてほしいと思いますか。… 10-2 あなたは、これから男の子は、どのようなことを身につけてほしいと思いますか。…	削除
-	(問 11)	問 4 に同じ。 選択肢の順番を入れ替えてはどうか。	①子どもが3歳になるまでは、母親は育児に専念したほうがよい ②親が仕事や自分の生活を大切にするために、子育て支援サービスを活用することはよい ③国や自治体が積極的にかかわり、社会全体で子育てをしていくのがよい	削除
7	問 12	問 4 に同じ。 選択肢の順番を入れ替えてはどうか。 「嫁」「婿」を言い換えてはどうか。 「家政婦」は削除する。	1. 妻 2. 夫 3. 父母 4. 娘 5. 息子 6. 嫁 7. 婿 8. 兄弟姉妹 9. 孫 10. 家政婦 11. ホームヘルパー 12. その他（具体的に）	1. 夫 2. 妻 3. 父母 4. 息子 5. 娘 6. 子の夫 7. 子の妻 8. 兄弟姉妹 9. 孫 10. ホームヘルパー 11. その他（具体的に） ※「家政婦」削除

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
8	問 1 4	問 4 に同じ。 選択肢の順番を入れ替えてはどうか。 女性の仕事を持つことについての質問なので、「女性は（も）」をつけなくてもよい。特に「女性も」とすると、男性の就業（男性は仕事を続けるほうがよい）を前提にした表現になる。	1. 女性は、仕事を持たないほうがよい 2. 女性も、仕事を続けるほうがよい	1. 仕事を続けるほうがよい 5. 仕事を持たないほうがよい
9	問 1 6	事業所向け調査の問18において、「旧姓の使用」だけでは、女性が生を 変えることを前提としているように捉えられ得るため「通称名(旧姓等)」に修正。それに合わせ、標記をそろえるため市民向け調査でも修正。	5. 旧姓使用の促進を図ること	5. 通称名（旧姓等）使用の促進を図ること
9	-	「困難な問題を抱える女性」だけが人（対象）を指している違和感がある。また、女性支援新法は人権侵害に直接関係する法律ではないことや、問28の設問文で、DV等と関連していることが説明されていることから、削除しても問題はないと思われる。	人権（DV、セクハラ、LGBTQ(※3)、困難な問題を抱える女性）についておたずねします。	人権（DV、セクハラ、LGBTQ（※3））についておたずねします。
14	問 2 8	S O G I は性的マイノリティの方のみならず、すべての人が持ち合わせている性的指向及び性自認であり、この概念が使用される機会が増えているため。 アンコンシャス・バイアスについては、組織や家庭、社会全体に与える影響が大きいことから、性別による無意識の思い込みに気づき、これを解消していく必要性が特に高いと考えられるとされているため（内閣府より）。	1. 男女共同参画社会 2. ジェンダー 3. ポジティブ・アクション 4. リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 5. ワーク・ライフ・バランス 6. デートDV 7. L G B T Q（※3）	1. 男女共同参画社会 2. ジェンダー 3. ポジティブ・アクション 4. リプロダクティブ・ヘルス／ライツ 5. ワーク・ライフ・バランス 6. デートDV 7. L G B T Q（※3） 8. S O G I 9. アンコンシャス・バイアス

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
15	問 2 9	4 については、隅々までしっかりもれなく知らせる、情報を行き届かせるといだけではなく、具体的な対応をすよう求めるものにしてはどうか。 13については、「・携帯電話」は削除してはどうか。	4. 職場での男女の均等な取扱いについて周知徹底が図られるよう企業等に働きかける 13. インターネット・携帯電話などで正しい情報を適正に発信するようメディアに働きかける	4. 職場での男女の均等な取扱いが図られるよう企業等に働きかける 13. インターネットなどで正しい情報を適正に発信するようメディアに働きかける

【事業所】調査票（案）に関する意見等一覧

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
1	導入部分	「性別にかかわらず個性と能力を発揮し、いきいきと暮らすことができる社会の実現を目指し」を下線や太字で目立たせてはどうか。本調査の大きな目的だから。読み手に確実に伝わってほしい。	※修正なし	※事務局：豊川市における計画や意識調査等において、導入部分の一部を強調することは基本無いため、修正しないこととする。
2	問2	男女別に集計をしていない、採用時に性別を聞いていない、従業員にトランスジェンダー等の方がおり男女どちらかしかないと回答が難しい等、回答しづらい企業がある可能性がある。	男性 女性	男性 女性 合計 □男女別の従業員数を把握していない場合は✓をつけ、合計数のみご回答ください。
3	問4	パワハラがないことに違和感がある。パワハラ防止法について、2022年4月に中小企業まで対象としたものが施行された。セクハラ、マタハラは男女雇用機会均等法において防止措置を定めている。	5. セクハラやマタハラなどのハラスメントの防止措置がとられていること	5. セクハラやマタハラ、 パワハラ などのハラスメントの防止措置がとられていること
		事業所を代表する方でも、なじみがないと思うため、ポジティブアクションの意味を記してほしい。	9. 男女間に事実上生じている格差を解消するため、ポジティブ・アクションをすること	9. 男女間に事実上生じている格差を解消するため、 ポジティブ・アクション(※1) をすること ※1 ポジティブ・アクション 固定的な男女の役割分担意識や過去の経緯から男女労働者の間に生じている差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取り組みを言います。

ページ数	問	意見内容	修正前	修正後
4	問 5	男女で役割や能力を区別したような内容のため修正が必要。	1. 家事・育児・介護について男性の参加を促進し、女性の負担を軽減すること 2. 女性と男性の特性の違いを受け入れること 3. 女性の意識改革 4. 男性の意識改革	1. 家事・育児・介護への参加を促進すること 2. 採用や待遇における男女の格差をなくすこと 3. 仕事と家庭を両立するための制度を利用するための職場環境を作ること 4. テレワークやフレックスタイムなど、柔軟な働き方を取り入れること
5	問 9	問 5 に同じ。 男女で役割や能力を区別したような内容のため修正が必要。	2. 中間管理職男性や、同僚男性の認識、理解が不十分である 4. 一般的に女性は職業意識が低い 6. 管理職が女性の育成方法を理解していない 7. 女性は体力的に男性より劣る 8. 女性は必要な知識や経験、判断力等が男性より劣る	2. 管理職や同僚の認識、理解が不十分である 4. 女性従業員自身の昇進意欲が低い 6. 女性のための設備にコストがかかる 7. 男女で従事する職務内容が分かれている 8. 女性の人材活用を推進する方法がわからない
8	問 1 4	問2に同じ。 回答しづらい企業がある可能性があるため。	表内項目 男性 女性	表内項目 男性 女性 合計 ☐ 男女別の従業員数を把握していない場合は✓をつけ、合計数のみご回答ください。
8	問 1 5	わかりやすくする。問 1 3 で「補てん」と表記しているため揃える。	4. 代替要員の補填を行わず、他の部門のほかの社員で対応した	4. 代替要員の補てんを行わず、他の部門のほかの社員で対応した
10	問 1 8	「旧姓の使用」だけでは、女性が姓を変えることを前提としているように捉えられ得るため。	表内項目 6. 旧姓の使用	表内項目 6. 通称名（旧姓等）の使用